

福島県立医科大学 産科婦人科学講座のスタッフ

<p>産科部長(主任教授) 藤森 敬也 臨床専門分野 1)産婦人科一般 2)周産期医学 3)胎児診断・治療 4)超音波診断学 研究分野 1)胎児生理学(胎児 behavior)</p>	<p>婦人科部長(教授) (地域婦人科腫瘍学講座) 添田 周 臨床専門分野 1)婦人科腫瘍学 2)婦人科血管造影 研究分野 1)婦人科腫瘍学</p>	<p>生殖医療センター部長(講師) 菅沼 亮太 臨床専門分野 1)生殖内分泌 2)不妊 研究分野 1)生殖内分泌 2)不妊</p>
<p>性差医療センター部長(准教授) 山口 明子 臨床専門分野 1)ヘルスケア 2)周産期医学 研究分野 1)周産期医学 2)内分泌</p>	<p>婦人科副部長(准教授) (地域産婦人科支援講座) 古川 茂宜 臨床専門分野 1)婦人科腫瘍学 1)婦人科内視鏡下手術 研究分野 1)婦人科腫瘍学</p>	<p>産科副部長(准教授) (総合周産期母子医療センター 副部長) 安田 俊 臨床専門分野 1)周産期医療 研究分野 1)周産期医療 2)胎児生理学</p>
<p>助手 磯上 弘貴 臨床専門分野 1)周産期医学 研究分野 1)周産期医学</p>	<p>助手 福田 冬馬 臨床専門分野 1)周産期医学 研究分野 1)周産期医学</p>	<p>助手 岡部 慈子 臨床専門分野 1)婦人科腫瘍学 研究分野 1)婦人科腫瘍学</p>
<p>助手 三浦 秀樹 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>	<p>助手 加藤 麻美 臨床専門分野 1)婦人科腫瘍学 研究分野 1)婦人科腫瘍学</p>	<p>助手(周産期・小児地域 医療支援講座) 佐藤 雄翔 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>
<p>助手 村松 七生 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>	<p>助手 帆保 翼 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>	<p>専攻医 安城 和輝 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>
<p>専攻医 宮川 一憲 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>		<p>専攻医 稲月 あかり 臨床専門分野 1)産科婦人科学 研究分野 1)産科婦人科学</p>

福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センターのスタッフ

<p>センター長(教授) 高橋 俊文 臨床専門分野 1)生殖内分泌 2)不妊 3)婦人科内視鏡下手術 研究分野 1)卵子の老化に関する研究 2)女性医療の均てん化に関する研究</p>	<p>教授 西郡 秀和 臨床専門分野 1)周産期医学 2)遠伝カウンセリング 研究分野 1)周産期環境と子どもの 神経発達に関する研究 2)周産期メンタルヘルスに関する研究</p>	<p>特任教授 神保 正利 臨床専門分野 1)周産期医学 研究分野 1)県外の大学産婦人科との連携 システムの構築、災害時における産科医療 の教育システムの開発</p>
<p>特任教授 小川 真里子 臨床専門分野 1)女性ヘルスケア 研究分野 1)女性心身症全般(PMS / PMDD) 2)更年期障害、閉経後脂質異常症</p>	<p>特任教授(非常勤) 福島 明宗 現勤務先 北上済生会病院 臨床専門分野 1)臨床遺伝学 2)周産期医学</p>	<p>特任教授(非常勤) 福井 淳史 現勤務先 兵庫医科大学産科婦人科 臨床専門分野 1)生殖医学 2)生殖免疫学 3)産科外科学 4)内視鏡手術</p>
<p>特任教授(非常勤) 磯部 真倫 現勤務先 岐阜大学生殖医学講座産科婦人科学分野 臨床専門分野 1)婦人科内視鏡下手術 2)婦人科腫瘍 3)医学教育</p>	<p>特任教授(非常勤) 黒田 優佳子 現勤務先 黒田インターナショナル メディカルリプロダクション 臨床専門分野 1)不妊症学(特に臨床精子学、生殖生理学)</p>	<p>特任講師(非常勤) 鈴木 大輔 現勤務先 太田西ノ内病院産婦人科 臨床専門分野 1)産科内視鏡下手術 2)周産期救急</p>

連携施設のご案内

福島県内に11箇所、県外に1箇所の連携施設があります。

<p>1 会津中央病院 〒965-8611 福島県会津若松市鶴賀町1-1 TEL: 0242-25-1515</p>	<p>2 大原綜合病院 〒960-8611 福島県福島市上町6-1 TEL: 024-526-0300</p>	<p>3 福島赤十字病院 〒960-8530 福島県福島市八島町7-7 TEL: 024-534-6101</p>	<p>4 南相馬市立綜合病院 〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町2-54-6 TEL: 0244-22-3181</p>
<p>5 竹田綜合病院 〒965-8585 福島県会津若松市山鹿町3-27 TEL: 0242-27-5511</p>			<p>6 星綜合病院 〒963-8501 福島県郡山市向河原町159-1 TEL: 024-983-5511</p>
<p>7 太田西ノ内病院 〒963-8558 福島県郡山市西ノ内2-5-20 TEL: 024-925-1188</p>	<p>8 寿泉堂綜合病院 〒963-8585 福島県郡山市駅前1-1-17 TEL: 024-932-6363</p>	<p>9 板橋中央綜合病院(東京都) 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7 TEL: 03-3967-1181</p>	<p>10 白河厚生綜合病院 〒961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎2-1 TEL: 0248-22-2211</p>
	<p>11 公立岩瀨病院 〒962-8503 福島県須賀川市北町20 TEL: 0248-75-3111</p>	<p>12 いわき市医療センター 〒973-8555 福島県いわき市内郷御殿久世原16 TEL: 0246-26-3151</p>	

【車】東北自動車道 福島西 I.C.より約13分、福島松川スマート I.C.より約8分

【バス】JR福島駅東口バス乗り場(5番または6番ポール)より乗車、「医大病院」または「医科大学前」下車(約36分)

公立大学法人
福島県立医科大学
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 TEL 024-547-1111(代) https://www.fmu.ac.jp

産婦人科

専門医コース

仲間たちと共に目指す産婦人科医療のプロフェッショナル

福島県立医科大学附属病院の専門研修プログラムでは、基本領域専門医のいずれも取得できる体制を整えています。



専門医研修（専門研修プログラム）

基本領域 3年間

コース名 産婦人科専門医コース

プログラムの特徴

日本産科婦人科学会が提示するカリキュラムに準じた専攻医研修プログラムとして、3年間で産婦人科専門医の認定試験に十分合格できる水準以上の産婦人科の知識・技能・態度を習得します。

到達目標

①生殖・内分泌

排卵・月経周期のメカニズム（視床下部－下垂体－卵巣系の内分泌と子宮内膜の周期的変化）を十分に理解します。その上で、排卵障害や月経異常とその検査、治療法を理解します。生殖生理・病理の理解のもとに、不妊症、不育症の概念を把握します。妊孕性に対する配慮に基づき、適切な診療やカウンセリングを行うのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。また、生殖機能の加齢による変化を理解します。

②婦人科腫瘍

女性生殖器に発生する主な良性・悪性腫瘍の検査、診断、治療法と病理とを理解します。性機能、生殖機能の温存の重要性を理解します。がんの早期発見、特に、子宮頸癌のスクリーニング、子宮体癌、卵巣癌の診断の重要性を理解し、説明、実施します。

③周産期

妊娠、分娩、産褥ならびに周産期において母児の管理を適切に行えるようになるために、母児の生理と病理を理解し、保健指導と適切な診療を実施するのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。

④女性のヘルスケア

女性のトータルヘルスケアを担当する診療科として、他科との連携のもと、一生涯にわたって全人的な医療を行うことができます。思春期、性成熟期、更年期・老年期それぞれの時期特有の疾患の病態を理解し、適切な診療を実施するのに必要な知識・技能・態度を身に付けます。

プログラムの概要

修得項目

1年目

6か月の大学附属病院の研修・6か月の関連施設での研修

- 正常分娩:100例
- 異常分娩:20例
- 帝王切開:30例
- 子宮内容清掃術:5例
- 腹式単純子宮・全摘出術:10例
- 腹腔鏡手術:10例

2年目

1年目とは別の関連施設（NICUがある病院）での研修（外来・妊婦健診を含む）

- 正常分娩:200例
- 異常分娩:20例
- 帝王切開:50例
- 子宮内容清掃術:10例
- 腹式単純子宮・全摘出術:20例
- 腹腔鏡手術:20例

3年目

2年目とは別の関連施設（腹腔鏡症例が多い病院）での研修（外来・不妊症を含む）

- 正常分娩:100例
- 異常分娩:20例
- 帝王切開:50例
- 子宮内容清掃術:10例
- 腹式単純子宮・全摘出術:20例
- 腹腔鏡手術:30例

指導体制 指導医数 15人

受け入れ可能人数

10人

専門医取得後に取得可能となるサブスペシャリティ領域

- 周産期専門医(母体・胎児部門)
- 婦人科腫瘍専門医
- 生殖医療専門医
- 女性ヘルスケア専門医
- 臨床遺伝専門医
- 細胞診専門医
- 超音波専門医
- 内視鏡専門医

専攻医の声

専攻医4週1日



専攻医1年目
いなば
稲月 あかり

ご覧いただき誠にありがとうございます。専攻医1年目、稲月あかりと申します。私は学生実習中になんとなく「外科系に進もう」と思ってから、初期研修2年目の秋頃まで手術のできる複数の科で迷っていました。しかし最終的には、帝王切開の感動やエネルギーに惹かれた産婦人科に決めました。

大学の産科で後期研修が始まり、1ヶ月が経ちました。私は産科症例が比較的少ない病院で初期研修を行いましたので、全てを一から教えていただきながら習練する毎日です。新しい環境で分からないことだらけ、3年目はさぞ辛かろうと思っていましたが、直接ご指導くださる先生方はもちろんのこと、病棟の助産師さん、看護師さん、関わるスタッフの皆様がとても温かく、過度な緊張なく知識や技術を身につけることに集中して過ごせています。一緒に入局した同期が、婦人科、生殖内分泌グループ、市中病院とそれぞれの環境で頑張っていることも刺激になり、また日々のモチベーションにも繋がっています。

私はコロナ禍中に学生実習をしたため実習内容に制約が多く、出身大学でありながら、医局の雰囲気を知ったのは研修医として見学に来た時でした。1日だけの見学でしたので、指導熱心かつ優しい先生が多くて楽しいな、と感じた印象が入局後に覆ることが心配でしたが、少なくとも1ヶ月在籍してみて感想は変わっていません。ですから、福島の産婦人科に少しでも興味を持たれたあなた様には、ぜひ一度見学や説明会にお越しいただき、体感していただけたらなと思っています。お会いできる日を楽しみにしております。



産婦人科にはどんなイメージを持っていますか？



専攻医1年目
かとう まり
加藤 茉莉
(竹田総合病院)

はじめまして！産婦人科専攻医1年目の加藤茉莉と申します。

産婦人科にはどんなイメージを持っていますか？私は学生時代から産婦人科に興味を持っていましたが、忙しい科、大変な科といったイメージがあり、なかなか専攻を決められずにいました。しかし、初期研修で産婦人科をローテートした際に、新しい命の誕生の瞬間や大変な症例にチームで立ち向かう産婦人科の先生たちを見て、産婦人科を志すことを決めました。実際に働いてみて、確かに忙しい日もありますが、意外と自分の時間も興味や交友関係に費やす時間も取れます。

また産婦人科のいいところとして、やりがいの他、周産期、腫瘍、生殖内分泌、女性ヘルスケアなど多方面に学ぶことができる点があります。私は産婦人科医としてまだまだ駆け出しの身ですが、周りの先生方に優しく指導していただき毎日楽しく働いています。

産婦人科はたくさん魅力のある科です。興味を持った方、ぜひ見学に来てください！



先輩からのメッセージ

未来の産婦人科医の皆さんへ



助手
さとう ゆう き
佐藤 雄翔

福島県立医科大学産婦人科学講座の佐藤雄翔です。

私は現在産婦人科医として日々充実した毎日を過ごしております。学生実習で産婦人科を回ってから、産婦人科をやってみたいという思いがあり、そのまま産婦人科医として進むことを決めました。

産婦人科は、夜間の呼び出しや緊急手術などが多いことなどが一般的なイメージかと思えます。実際に当てはまることもあります。それはどの診療科に進んでも当てはまることかと思えます。しかし、その分やりがいも多い科であることは間違いないと自分自身感じています。

福島県立医科大学産婦人科講座の特徴は、入局間もない頃から帝王切開や婦人科手術の執刀の機会が非常に多いことです。また、学会発表や若手の頃から論文作成など、アカデミックなことにも力を入れています。日々の臨床では、上の先生方は私たちのスキルアップのために熱心に指導していただき、困った時には親身に相談に乗ってくださいます。後輩たちも非常に熱心な先生方ばかりで、お互いに切磋琢磨しています。

学生や初期研修医の皆さんの中で、少しでも産婦人科に興味のある方は、その時点で産婦人科に向いていると思います(笑)。一緒に患者さんのために、やりがいのある毎日を過ごしてみませんか？皆さんと一緒に働くことを楽しみにしております!!!



産婦人科医として福島県で働いてみませんか



助手
よしもと ゆ き
吉本 有希

こんにちは、産婦人科医5年目の吉本と申します。私は千葉県出身で、大学進学を機に福島に来ました。大学時代は地元に戻ることも考えましたが、福島の人の温かみや景色、食べ物の素晴らしさに魅了され、福島で研修をすることを決めました。

福島県内の産婦人科を有する総合病院の多くが当科関連施設であり、県内どの施設での研修も上級医が親身になって指導していただき、たくさん症例を早い時期から経験することができました。県内の産婦人科診療施設は決して多いとは言えないかもしれませんが、施設間の連携が密であるため、他施設の先生からご指導いただける機会も多いです。患者様もみなさま親切で、たくさんの教えを受けながら、貴重な経験をさせてもらっています。

このような恵まれた環境のなかで日々修練を重ねることができ、充実した産婦人科医生活を送っています。休みの日には、美味しい空気を吸いに自然豊かな景色を見に行ったり、仙台や東京へも新幹線ですぐに行けるため、息抜きもしやすい環境です。もし少しでも福島県での産婦人科医療に興味のある先生がいらっしゃったら、ぜひ一度見学にいらしてください。お会いできるのを楽しみにしています。

